

別記様式（第5条関係）

令和6年4月5日

天理市議会議長 大橋基之 様

天理市議会議員

井上伸吾

令和5年度政務活動費収支報告について

天理市議会の審議機能を強化するための政務活動費の交付に関する
条例第5条第1項の規定に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動
費収支報告書を提出します。

別紙

その1

令和5年度政務活動費収支報告書

天理市議会議員 井上伸吾

1 収 入

政務活動費 550,000 円

2 支 出

科 目	金 額 (円)	備 考
調 査 研 究 費	47,305-	
研 修 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	47,305-	

3 残 額 502,695- 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

別紙

その2

政務活動費支出明細書

領収書及び支出を証明する書類（明細書、見積書、日程表等）

裏面等に添付
添付しなかった理由欄 別紙、支払明細書 NO. 1～NO. 4のとおり

支出内訳（日付別、使途別に分類）

日付	使途	金額(円)
年月日	東京都千代田区・文京区 研究調査	47,305
年月日		
年月日		
年月日		

科目内訳

科目	金額(円)	科目	金額(円)
調査研究費	47305	研修費	
広聴費		要請・陳情活動費	
資料作成費		資料購入費	
人件費		事務所費	
合計		47,305	

別 紙

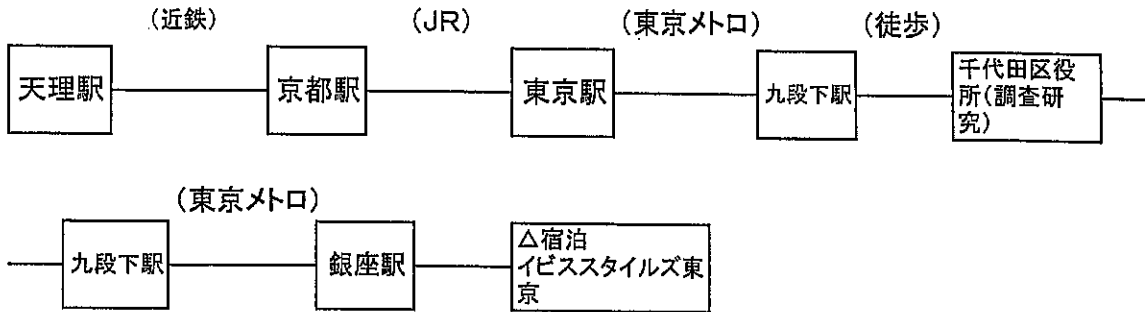
支出内訳(日付別、使途別に分類)

日 付	使 途	金 額(円)
R5年10月23日	東京メトロ(東京→九段下)	180
R5年10月23日	東京メトロ(九段下→銀座)	180
R5年10月24日	東京メトロ(銀座→本郷三丁目)	180
R5年10月24日	東京メトロ(本郷三丁目→東京)	180
R5年11月18日	近鉄(天理→京都)	910
R5年11月18日	JR(京都→東京)	14,170
R5年11月18日	宿泊(イビースタイルズ銀座)	13,800
R5年11月18日	JR(東京→京都)	14,170
R5年11月18日	近鉄(京都→天理)	910
R5年11月18日	手配費用(宿泊・乗車券等)	1,200
R5年11月18日	視察手土産代(千代田区・文京区)	1,425
合 計		47,305

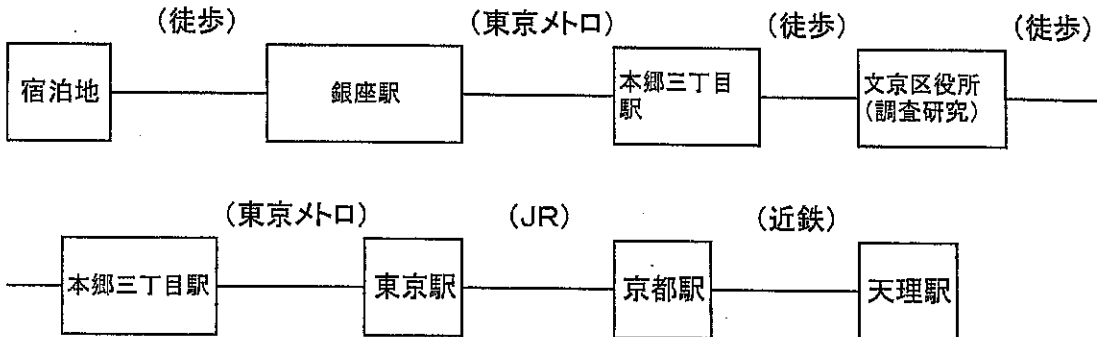
行 程 表

◆ 参加議員名 山田哲生 井上伸吾 今西康世 藤本さゆり

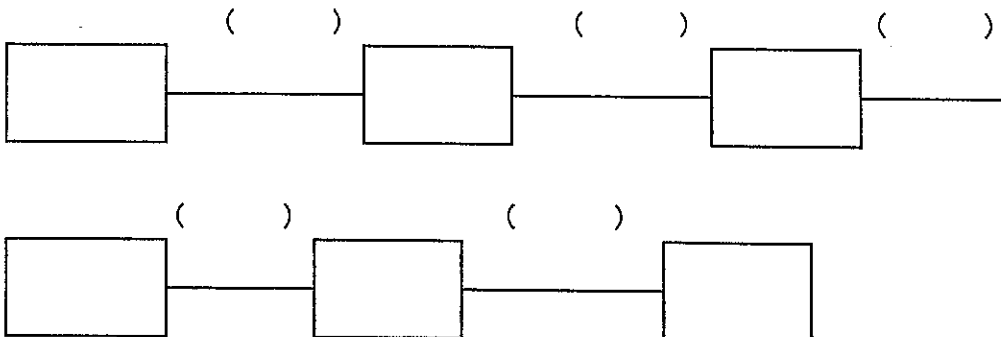
10 月 23 日 (月)



10 月 24 日 (火)



月 日 ()



※この行程表は、旅費の算定に使用しますので、には、駅名・視察地・宿泊所等を記入し、()には、交通機関名、路線及び自家用車使用の場合は、距離数を記入してください。

請求書

発行日 2023年11月11日

お客様名 天理市議会(令和の会)井上 伸吾 様

Japan Travel

登録番号 T71500010

奈良県知事登録旅行業

株式会社ジャパン

〒632-0015 奈良県天理市

TEL:0743-68-0022 FAX:0743-68-0044

担当者: 上田 里美

ご旅行日 2023年10月23日

旅行商品

ご旅行先 東京・研究調査

合計ご請求額:

¥46,585

項目	単価	数量	金額
1 交通費:近鉄乗車券(天理→京都)	910	1	910
2 近鉄乗車券(京都→天理)	910	1	910
3 JR特急・乗車券(京都→東京)	14,170	1	14,170
4 JR特急・乗車券(東京→京都)	14,170	1	14,170
5 宿泊費:イビスタイルズ銀座	13,800	1	13,800
6 取扱料金:手配費用	1,200	1	1,200
7 手土産(千代田区役所・文京区役所)	1,425	1	1,425
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
小計			¥46,585
内消費税(10%)			¥4,235
合計			¥46,585
お預り金額			¥0
ご請求金額			¥46,585

振込期限: までにお振込ください。

大和信用金庫 天理支店 普通 2132513

南都銀行 天理支店 普通 2265302

口座名義 カ)ジャパントラベル

領収証

令和の会 井上伸吾様

No. _____

★ ¥ 46,585-

但し 10/23-24 研修費用として

2023年 11月 18日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

内訳	
税抜金額	42,350-
消費税額等 (%)	4,235-

奈良県知事登録旅行業 第2-2
 株式会社ジャパントラ
 〒632-0015 奈良県天理市三島町
 TEL. 0743-68-0022 FAX. 0743-68-0023
 登録番号 T715000102

支 払 証 明 書

NO. 1

金 額	¥ 180 -
--------	---------

ただし、「東京～九段下」間の東京メトロ運賃(@180円)

添付できない理由

自動販売機で購入のため

上記金額を支払いましたが、正当領収書の徴収困難につき本書にて証明します。

令和 5 年 10 月 23 日

氏名

井上伸吾

支 払 証 明 書

NO. 2

金 額	¥ 180 -
--------	---------

ただし、「九段下～銀座」間の東京メトロ運賃(@180円)

添付できない理由

自動販売機で購入のため

上記金額を支払いましたが、正当領収書の徴収困難につき本書にて証明します。

令和 5 年 10 月 23 日

氏名

井上伸吾

支 払 証 明 書

NO. 3

金 額	¥ 180 -
--------	---------

ただし、「銀座～本郷三丁目」間の東京メトロ運賃(@180円)

添付できない理由

自動販売機で購入のため

上記金額を支払いましたが、正当領収書の徴収困難につき本書にて証明します。

令和 5 年 10 月 24 日

氏名

井上 伸吾

支 払 証 明 書

NO. 4

金 額	¥ 180 -
--------	---------

ただし、「本郷三丁目～東京」間の東京メトロ運賃(@180円)

添付できない理由

自動販売機で購入のため

上記金額を支払いましたが、正当領収書の徴収困難につき本書にて証明します。

令和 5 年 10 月 24 日

氏名 井上伸吾

実施計画書

このことについて、下記のとおり実施したいので、よろしくお願
いたします。

記

◆実施期間

令和5年 10月 23日(月)～令和 5年 10月 24日(火)

◆視察先、研修場所

1. 東京都・千代田区役所
2. 東京都・文京区役所

◆研修名

1. 東京都千代田区役所／『DXの推進』について
2. 東京都・文京区役所／『元気高齢者が活躍！！介護施設ワーク
サポート事業』について

◆目的

1. デジタル技術を活用してサービスや仕事の進め方を変革し、区
民生活をあらゆる面で豊かにする「DX（デジタル・トランス
フォーメーション）」に取り組む。
2. 新たな福祉の担い手となる元気高齢者を掘り起こす。
また、会員が減少傾向にあるシルバー人材センターの活性化と
介護施設の人材不足への側面的支援を行う。


令和 5年 10月 2日

天理市議会議長

大橋 基之 様

《参加議員名》

天理市議会議員
(原本) 山田 哲生
井上 伸吾
今西 康世
藤本 さゆ



実施報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

記

◆実施期間

令和5年10月23日（月）～令和5年10月24日（火）

◆視察先、研修場所

- 東京都千代田区
- 東京都文京区

◆研修名

- 千代田区『DXの推進』について
- 文京区『元気高齢者が活躍！！『元気高齢者が活躍！！介護施設ワークサポート事業』について』
について

◆目的

- DX推進における先進自治体の視察
- 介護施設ワークサポート事業への自治体の取り組み方について

◆内容及び報告 別紙のとおり

令和5年11月23日

天理市議会議長

大橋 基之 様

《参加議員名》
天理市議会議員

山田
井上
今西
藤本

哲生
伸吾
康世
さゆ



(原本)

令和5年11月23日

天理市議会議長 大橋 基之 様

令和の会

幹事長 山田 哲生

令和の会視察報告書

視察日程 令和5年10月23日(月)～10月24日(火)

- 視察先及び研修事項
1. 視察先 東京都千代田区役所
10月23日(月) 14時00分～15時30分
研修事項 『DXの推進』について
 2. 視察先 東京都文京区役所
10月24日(火) 14時00分～15時00分
研修事項 『元気高齢者が活躍!!介護施設ワークサポート事業』について

視察議員 令和の会 山田 哲生
今西 康世
藤本 さゆり
井上 伸吾

1. 視察先 東京都千代田区役所

研修事項 『DXの推進』について

視察先対応者 政策経営部デジタル担当部長 村木 久人 氏

政策経営部デジタル政策課デジタル推進担当課長 小菅 啓介 氏

①目的

デジタル技術を活用してサービスや仕事の進め方を変革し、区民生活をあらゆる面で豊かにする「DX (デジタル・トランスフォーメーション)」に取り組む。

②施策概要

- ①区民が手続方法を自由に選択できる環境の実現
- ②デジタルワークフロー「デジタルを基点とした業務の進め方」の実現
- ③区民一人ひとりを個でとらえたサービス CRM「千代田区民・リレーションシップ・マネジメント」の実現
- ④温もりのあるサービス「Face to Face」の提供をコンセプトとして、区と区民の結節点となる区独自ポータルサイトの構築や、スマート窓口の推進、職場環境改善・事務効率化の推進、デジタルデバインド対策などに取り組む。

③内容及び報告

まず、区役所の1階ロビーにて総合受付窓口があり、来庁された方の目的・どの課へ行けば良いかの適切な案内があり、機能しているように見受けられる。

各フロアを見学させて頂き、どの位置からでもフロア全体を見渡せるよう書類棚の少なさ、書類のデータ化による紙類の削減が進められている。また、各課の境界がなく、各職員が自身のデスクのみで作業するのではなく、立った位置の高さのテーブルがあり、そこで打ち合わせをしながら作業ができるようにしている。

各フロアにリモート会議用の半個室を用意し利用頻度は高い。

2023年4月、新たな副区長に大手IT企業のヤフーから小林聡史氏を起用した。ヤフーニュースのプロデューサー、日本IT団体連盟事務局長を経験し、区が取り組むDX事業の推進役を担う。

来庁しなくても良いサービス、来庁の際はスマートなサービスを目指しており、最優先事項として自治体情報システムの標準化・共通化に取り組んでいる。この『自治体システムの標準化・共通化』の先に、手続きをまとめて一度に行う

こと、役所内で情報を共有することで同じ書類を何度も提出させないようにすることに繋がる。

DXとは、一般的に「デジタル技術を活用し、人々の生活をより良いものへと変革すること」を指しますが、千代田区では、「デジタル技術を活用し、区民の利便性と職員の生産性を向上すること」を定義とし、策定・推進している。

④課題

DX推進にあたっては、単にデジタル化を目的化することなく、これまでのサービスや業務の仕方を抜本的に見直す必要があり、職員の意識改革が肝要である。

『千代田区ポータルサイト』という育児支援をメインとしたサイトがあるが、周知不足で利用者が少ない。YouTubeでもサイトの利用方法をUPしているが閲覧数が伸びていない。いかにサイト利用者を増やしていくかを検討していく。

デジタルデバインド（デジタル技術を使いこなせる人と、助けを必要とする人の格差是正）が不可欠であり、ガイドラインならびにマニュアルを策定中。

当市でも、令和6年11月をメドに自治体情報システムの標準化・共通化に取り組み、令和7年度より『書かない窓口DX』を目指し、窓口SaaSと呼ばれる窓口支援システムの導入を検討準備中である。

2. 視察先 東京都文京区役所

研修事項 『元気高齢者が活躍！！介護施設ワークサポート事業』について

視察先対応者 福祉部高齢福祉課長 瀬尾 かおり 氏

福祉部高齢福祉課社会参画支援係長 池田 一智 氏

①目的

新たな福祉の担い手となる元気高齢者を掘り起こす。また、会員が減少傾向にあるシルバー人材センターの活性化と介護施設の人材不足への側面的支援を行う。

②施策概要

福祉のしごとに興味がある高齢者に対し、区内介護施設等の協力のもと、「介護施設就業体験セミナー」を開催し、介護に関する基礎知識等の講義と、現場でのインターン（20時間以上・有償）を実施する。

シルバー人材センターを活用し、業務開始前に現場を経験する機会を設けることで、受講者・施設側双方の意向に沿ったマッチングを図るとともに、シルバー人材センターの活性化と、介護施設の人材不足に対する側面的支援に効果を発揮している。

③内容及び報告

東京都文京区では、2017年度より60歳以上を対象に「介護施設就業体験セミナー（介護施設ワークサポート事業）」を開始。これは座学で介護について学び、その後は実習体験を経てインターンとして介護施設で働くプログラムである。同セミナー終了後、希望者はシルバー人材センターに登録し、「介護施設お助け隊」として介護施設で働くことが可能。1人あたり週1～2回、2～3時間程度の就業となる。上記セミナーは年に3回実施、定員は15名で申込年齢層は60歳代が中心、7～8割が女性の応募である。申込者が多い場合は抽選となる。

【実績】

H29～R4→受講者155名、修了者125名、登録99名、現場派遣43名

現在、区内にある特別養護老人ホーム9施設（および同法人が運営する区内在宅サービスセンター）と提携をしているが、現在の運営開始までにかかなりの時間と乗り越えるべき課題があった。各社福法人が雇用する以外の就業者とのトラブル等を懸念される介護利用者の親族が多数あったとの報告がある。

シルバー人材センターは請負に加え派遣業も可能となることから、区の「介護施設お助け隊」も派遣を視野に入れている。派遣にすれば介護施設が直接仕事の指示を

出せるようになり、より現場のニーズに即した仕事が可能となる。そうすることで「介護施設お助け隊」のやりがいの向上や現場の介護職の負担軽減に繋げていく予定。

④課題

- ・受講セミナーは年に3回の実施だが、回によって受講者数にバラつきがある
- ・1クールのセミナー受講において、途中で受講を断念し修了できない方がいる
- ・施設と受講者、対客・接客の相性があり、マッチングが上手くいかない場合がある。

現在、区の65歳以上の割合は17%、15年後には30%になると予想されている。引き続き、介護施設との連携をとり、セミナー受講者ならびに就業者を増やしていかなければならないので、受講プログラムの周知・広報を拡大していく。

当市は現在、65歳以上の割合が27%と東京都文京区の10年先の状況であり、老老介護をせざるを得ない家庭もある。

また、天理市シルバー人材センターは請負業をメインとして運営しており、派遣にすれば介護施設側からの業務指示を出せるが、現在の天理市シルバー人材センターでは想定していない。

- ・働かなければ生活していけない
 - ・定年を過ぎても働きたい、生きがいである
 - ・社会との接点を持ち続けたい
 - ・仕事はしたいが、責任ある仕事はしたくない
- 等々、登録されている方の意図に沿った事業運営が重要である。